

平成 24 年度

(2012 年度)

# 標準化活動報告書

抜粋版

抜粋版

平成 25 年 5 月

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会  
(JBMIA)

標準化センター

## はじめに

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（以下、JB Mia という。）標準化センターの平成 24 年度（2012 年度）標準化活動報告書を発行いたします。

昨 2012 年は、海外ではギリシャのユーロ離脱危機や日中関係悪化などのマイナス要因があり、また国内景気も低迷し、ビジネス環境は総じて厳しいものでした。一方、日本をはじめ主要国で政権交代が進み、我が国では昨年末以降円安・株高傾向となるなど、2013 年に入り経済情勢に変化の兆しを感じられるようになりました。しかしながら、当協会が関係するビジネス機器や情報システムの分野での国際競争は今後も厳しさが増していく一方であり、これらの分野において国際標準を戦略的に活用する方策を見出すことは、会員各社様のビジネスのグローバル展開において従来にも増して重要な課題であると認識しております。

JB Mia 標準化センターは、以前よりアクセシビリティ・UI デザイン・カラーマネジメント各標準化プロジェクトの運営、JBMS（JB Mia 業界標準）及び JIS 等の維持管理、等の具体的な標準化活動に取り組んでまいりました。加えて近年は JB Mia における標準化のあるべき姿・方向性・戦略の議論や、国際標準の重要性を啓蒙する活動にも力を入れていますが、センター活動全般について一層の改善を加える必要を感じております。

本報告書をご高覧いただき、標準化センターに対して皆様の忌憚のないご意見を伺うことができれば幸いです。

標準化センター センター長  
栗原 克己

■ 目次 ■

1	標準化活動概況	4
1.1	標準化センター	4
1.2	JIS 原案作成委員会	5
1.3	標準化センター関連の委託事業	5
2	標準化センター	7
2.1	標準化センター関係委員一覧	7
2.2	標準化センター幹事会	12
2.3	JBMS 推進小委員会	14
2.4	ユーザーインターフェイスデザイン・プロジェクト (UIDP)	15
2.5	アクセシビリティ・プロジェクト (ACPJ)	17
2.6	カラーマネジメント・プロジェクト (CMP)	19
3	JIS 原案作成委員会	21
4	部会及び委員会の標準化活動	22
4.1	複写機・複合機部会	22
4.2	ページプリンタ部会	29
4.3	カード及びカードシステム部会	30
4.4	データプロジェクター部会	30
4.5	技術委員会	31
4.6	環境委員会	32
4.6.1	環境配慮小委員会/騒音規格検討 WG	32
5	標準化センター関連の委託事業	33
5.1	「事務機器の情報アクセシビリティ向上に関する国際規格開発」	33
	附属書 A JBMS/JIS 実績表	36
	附属書 B 2012 年度 JBMS 5 年見直し結果	41

## 1 標準化活動概況

### 1.1 標準化センター

標準化センター所属の各プロジェクト及び小委員会での、平成 24 年度の活動成果概要を次に示す。

#### (1) 幹事会の主な活動

- ・JB Mia 関係者を対象にして国際標準の重要性を理解し興味を持って頂くと共に、各社のビジネス戦略に活用して頂くのを目的に、平成 23 年度に引き続き、国際標準化活動の現場や標準化活動に対して見識をお持ちの方々に「講演」と「JB Mia レポートへの論文掲載」をお願いし、本年度は 4 回の講演会と、3 回の論文掲載を実施した。
- ・センターの課題について継続的に議論し 3 カ月毎の標準化会議で経過を報告した。結論はまだ出ておらず、センターの在り方と活動活性化の諸課題は協会改革関連の課題と重複する部分も多く、今後も引き続き議論を継続して行く予定である。
- ・JB Mia が 4 月 1 日より従来の「社団法人」から「一般社団法人」への法人名を変更したことに合わせ、センター管理規則類の内容を見直しし、7 件を改正、1 件を制定した。

#### (2) JBMS 推進小委員会の主な活動

- ・JBMS/JB Mia-TR の 5 年定期見直し業務の仕組み作りを行い、運用を開始した。今年度は、初回見直しの為に計 37 標準に対して見直しを行った。
- ・JB Mia-TR 制定原案 1 件、同改正原案 1 件のエディットを行い発行した。
- ・JBMS/JB Mia-TR の英語化対応推進として、「適用範囲 (Scope)」の英語対応化の定着推進を行うと共に、英文用 JBMS/ JB Mia-TR のテンプレート作成を作成した。

#### (3) ユーザーインターフェイスデザイン・プロジェクト (UIDP) の主な活動

- ・ステアリングチームで、複写機・複合機の操作画面の内「メニュー (ホーム、メインメニュー)」画面に関しての現状を分析し、各社の傾向をまとめた。
- ・UI 用語 WG では、前年度に検討した JB Mia-TR-2 (UI 用語ガイドライン)の改正内容をブラシアップし、改正版を 12 月に発行した。又、UI 用語作成ガイドライン (JB Mia-TR-5)の JBMS 化検討として、JBMS 文書書式を適用した原案を準備した。次年度、JB Mia-TR-5 の見直しと共に JBMS 化を検討する。
- ・ビジュアルランゲージ WG では、新規図記号標準化として図記号 6 件の規格化検討を行い、JBMS-83 (複写機・複合機の図記号) の改正として申請した。
- ・上記 JBMS-83 改正案を加えた JBMS-83 規定の 7 図記号と現国際標準にない JIS 掲載の 31 図記号の国際規格化提案を行う為、対象図記号リスト及び類似図記号との対比結果等を申請書としてまとめた。

#### (4) アクセシビリティ・プロジェクト (ACPJ) に関する主な活動

- ・ACPJ としての ISO/IEC 10779:2008 改正原案まとめと、その英訳版の作成をした。

- ・EU 指令 Mandate 376 活動での EN Draft (v0.0.4、及び v0.0.5) に対するパブリックコメントを ACPJ として投稿すると共に、その後も継続して情報を把握し共有を図った。現在の最新版は ESTI から各国標準機関への公開原案 v1.0.0 である。
- ・ISO/IEC JTC1/SC 28 ロンドン総会で ISO/IEC 10779 改正意思表明のプレゼンテーションを行い、日本主導の Ad-hoc WG での関連規制・標準の差異調査活動を行うことになった。12 月に同 WG を立上げ活動を開始した。
- ・新規活動項目の探索を目的として、10 月に九州大学大学院の 2 研究室の訪問と国際 UD 会議参加を行い、ユニバーサルデザイン (UD) やアクセシビリティに関する情報収集・意見交換を行った。

#### (5) カラーマネジメント・プロジェクト (CMP) の主な活動

- ・一般オフィスにおけるビジネス文書について、ディスプレイとプリントの色の観察環境、オフィスプリンタ色空間、色域マッピングアルゴリズム、オフィスプリンタ固有の課題 (様々な用紙や色材を前提としたカラーマネジメント) 等を取り上げ、その現状把握や技術レポート/規格化の検討をした。
- ・ISO/IEC JTC 1/SC 28 (事務機器分野) 国内委員会への活動状況報告/課題対応、IEC/TC 100 (オーディオ・ビデオ・マルチメディア機器分野) 国内委員会からの課題検討要請への対応を実施した。
- ・画像保存性 WG では、写真感光材料工業会 (ISO/TC 42 国内審議団体) との連携を図ると共に、ISO/TC 42 (写真分野) /WG 5/TG 2&3 国際会議にも代表を送り、JBMIA で集約した意見を反映させる活動を継続実施している。今年度 ISO 18930 (屋外耐候性)、同 18936 (耐熱性)、同 18941 (対オゾン性)、同 18946 (耐湿性)、同 18913 (用語) が発行となった。

### 1.2 JIS 原案作成委員会

- ・今年度 JBMIA が原案作成団体となって活動した JIS 及び活動を継続している JIS は下記の通り。
  - －平成 22 年度 JIS 原案作成公募の活動で、改訂版発行が完了 : 1 件
  - －公募外で作成活動を推進中の JIS 原案 ; 3 件
- ・平成 24 年度 JIS 5 年定期見直しとして、11 規格の精査を実施した。

### 1.3 標準化センター関連の委託事業

平成 22 年度に経済産業省の標準化テーマとして応募した「社会環境整備・産業競争力強化型規格開発事業 (テーマ名 : 事務機器の情報アクセシビリティ向上に関する国際規格開発)」の最終年度 (3 年目) 活動として、平成 24 年度の三菱総合技術研究所委託継続事業を推進した。

- ・ISO/IEC JTC 1/SC 28 の 6 月総会で、ISO/IEC 10779:2008 (Information technology

Office equipment accessibility guidelines for elderly persons and persons with disabilities) の改正意思表明のプレゼンテーションを日本より実施した。審議の結果、来年のウィーン総会での報告を目標に、Ad-hoc WG で同規格に関連する標準、法規類との整合状況調査活動を行う決議を得た。

- 上記決議に基づき、2012年12月よりWG活動を開始した。5月に報告書まとめの予定。
- JBMIA としての、ISO/IEC 10779 改正案まとめを終了。
- 平成 24 年度の活動成果報告書をまとめ、提出した。

以上

技料出版